

《保利建設社から大切なお客様と、未来のお客様へお届けする情報誌》

平成28年
5月31日発行
Vol. 29

ほりけん通信

6月号

発行人：(株)保利建設社
系島市東1487-2
TEL: 092-322-4779
FAX: 092-322-4799
編集長：保利千晴

社長コラム

いつも『ほりけん通信』をご覧いただきありがとうございます。

5月14日に行いました『住まいづくりフェア2016』にご来場頂きましてありがとうございました。雨を心配していましたが、当日は天気も良く多くのお客様にお越しいただきました。

会場には最新のキッチンやバス・トイレなどの展示と販売を中心に、今回は初出展となりましたトリムの水素水の展示販売も行いました。

トリムのコーナーでは、食品添加物の危険さや水素水の良さを目で見ながらの説明でよく分かったと、お客様からもご好評を頂き当日お買い上げのお客様も多くいらっしゃいました。

あたしも永くトリムの機械を自宅のキッチンに置いて使っています。今回、試薬を使って機械から出る水のPH（ペーハー）を調べてみることにしました。その結果、残念なことに古くなった我が家のトリムの機械からはアルカリ性ではなく中性の水が出ていました。

そこで、せっかく飲むなら良い水を！ということで私も今回買い替えることにしました。昔のもの比べると機械のサイズも小さくキッチンもスッキリ。お値段もうれしいことに前に買ったときよりも安くなっていました。

古い浄水器をお持ちの方もぜひこの機会にご自宅の水の事を調べてみてはいかがでしょうか。せっかく飲むなら体に良い水を！

では梅雨のこの季節、皆様ご健康にお過ごしください。



代表取締役 保利重勝



永年愛用していた機械



市販のアルカリイオン水ではもちろんアルカリ性を示していました。



これからお世話になる新しい「相棒」です

6/26(日)

お米実らせ体験2016 ～田植え～

先日、苗の種まきを行いました。

苗はすくすくと大きくなり、田植えの日を待っています。

田んぼに足を入れた時のヌルヌル、ひんやりとした感触は、小さな頃泥遊びをした時の感触に似ている気がします。大人は昔を思いだしながら…子どもは、今は滅多に経験しない「泥」の感触を感じながら…自分たちの手で苗を植えてみませんか。



永年使っている「種まき」機械



お昼は「空気がうまいモデルルーム」で

今年の苗の種まきは事務所敷地内で行いました。種をまいた箱は水もかけるので重くなり…なかなかの重労働です。毎年、親族一同で作業しますが、娘たちももう少し大きくなったら貴重な戦力になって頑張してほしいと思います。

編集後記

編集長：保利千晴

みなさま、こんにちは。とうとう梅雨入りしましたね。ムシムシジメジメ…。普段の洗濯物に加え週末の上履きや運動靴は洗っても一日ではなかなか乾かない時もあります…。洗うのをすっかり忘れて日曜日に洗ったりすると、月曜日に少し湿った上靴を持っていくのはめになります。子どもたちが帰ってきたその日に、私は面倒くさながら早めに洗いたいと思います。(母の反省)

さて、先日長女が自転車で転倒し、左ひじを骨折してしまいました。彼女にとっては初めての「手術・入院」というフルコースを経験しました。幸い利き手ではなく左手であったこと、ひじ以外は無傷だったことが良かったです。退院しても一ヶ月半はギプス生活で、取れた後もリハビリも必要とのこと。何気なく生活していることが、一番幸せだと痛感しているのではないのでしょうか(笑)

漫画でほっとひといき

「ヘビ一級白髪」

絵：編集長

しみ、そばかすも際立って目立ってくるお年頃のアラフォー編集長。白髪もしかり。白髪染めに行くのもなかなか暇がなく…目立つ所は引っこ抜く荒療治。

先日、**プチッ**と抜いた白髪が…

土間ぼうき級の太さで震えがきました。

なんだ！これは！

株式会社 保利建設社

〒819-1122 福岡県糸島市東1437-2

TEL (092) 322-4779 Email: info@horikenhome.jp

FAX (092) 322-4799 URL: http://horikenhome.jp/

幻の漆喰

音響熱処理材

漆喰屋



QRコード

糸島の空気がうまい家

検索



台所に置いてた解凍中の肉が無くなっとった!

それ、イタチやない?



美代子
(社長の母)

こんな会話が「きっかけ」で始まった
社長実家プチリフォーム



社長

社長の実家は、社長の祖父(省三)が産まれた時には既に葺き屋根の平屋があったそうです。それから数えても、築108年以上の家です。後に会長(社長の父)が産まれてしばらくして二階を増築したそうです。二階建てにしてから68年です。昔ながらの木造家屋を長年増築と小さな修繕をしながら今も建替えることなくきており…10年前に台所、風呂、トイレなどの水廻りのリフォームはしているもののリビングや玄関廻りはほとんど手付かずでした。



(社長の幼少時代とその当時の実家の様子)

ある時、母(社長の母)が、肉を解凍する為に冷凍庫から出し、少しの間外出していたら「肉が無くなった」そうです。誰も心当たりがなかったので、これは「イタチ」の仕業じゃないかと考えた社長。イタチは、小さな隙間から入り込むこともあるらしく、天井裏に入ってイタチを確認したわけではありませんでしたが、実家も古いのでこの際、天井を外してキレイにしようということになりました。

これをきっかけにプチリフォームすることになりましたが…色々話を聞いていると今まで不便で当たり前だと思っていたことや、ちょっとした不満も出てきました。

～玄関まわり～
Before

①

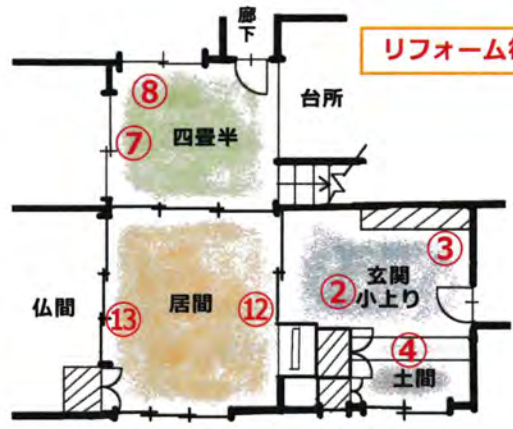


玄関から見える居間の引違戸

リフォーム前



リフォーム後



暗かった
のよね～



After

美代子さんのお悩み

- 天井が低い・暗い。
- 玄関の段差が高い。
(昔は平気だったが、転んだりした時の事を考えたら不安)
- 思い出の花嫁道具だったので、なかなか捨てられなかった小さな下足箱。
- 玄関から室内が丸見え。
- 収納が少ない。

②



母が大事にしていた下足箱でしたが思い切って取り外し、反対側に大きな造りつけの下足入れと飾り棚を設けました。

③



もともとあった下足箱を取り外したことでスッキリし明るい印象になりました。

④



土間からかなりの段差がありましたので転んだりつまずいたりしては危険なので幅広の式台を一段設け易くしました。

~四畳半~
Before



約30年前、居間横の四畳半は、大勢人が集まった時に居間とつなげて使っていました。



時が経って…
孫たちの遊び部屋にも。



長年手つかずだったので
天井にシミが…



- 美代子さんのお悩み
- 天井が低い・暗い。
 - 寒い（冬場）
 - 天井にシミ（イタチの仕業?）

After

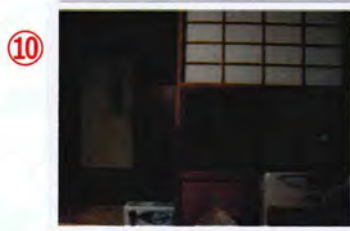


天井を高くし、照明はダウンライトにしました。壁と天井と同じ素材で統一したことによって、室内は以前と比べてかなりスッキリしました。断熱材を入れたことで冬場は暖かかったそうです。

~居間~
Before



居間の引違戸。開けると玄関から居間が丸見えでした。テレビの置き場所も場所を取っており、裏にホコリがたまって掃除がしにくかったそうです。



(戸を開けた時↓)



玄関側から見た仏間。7年くらい前の孫たち。孫たちにとっては天井が低かろうが寒かろうがあまり関係なかったようです（笑）



- 美代子さんのお悩み
- 玄関側の引き戸を開けるとお客様から丸見え
 - 隅に置いたテレビが邪魔で掃除がにくい
 - 収納が少ない
 - 天井が低い・暗い

After



完成後の
美代子さんの声



低かった天井を上げるだけ上げてもらったので開放感が違います！
天井と壁も同じ素材で統一されていて、照明もダウンライトでおしゃれになりました。
明るさが全然違いますね。テレビ台も大工さんに造ってもらい収納もつけてもらいました。